

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:令和5年12月28日

事業所名:SORATO(UMIE)てんり ※SORATOてんり

サービス種類:多機能型(児童発達支援、放課後等デイサービス)

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準以上のスペースを確保しています。	はい:16(94%) どちらともいえない:1(6%) 身体を動かす活動の時はもう少し広い方が安全に思います。	現状では、事業所内のスペースの拡大は計画しておりませんが、地域の公園などを利用しながら、遊びに合ったスペースを選んでいきたいと思っています。
	2	職員の適切な配置	基準の職員に加え、加配の職員も配置しています。職員は全員、有資格者を配置しています。	はい:16(94%) わからない:1(6%)	R5年12月より、常勤職員1名が追加予定です。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内は全面バリアフリーとしています。こどもの特性や活動に合わせて、個別訓練室も使用しています。	はい:13(76%) どちらともいえない:1(6%) わからない:3(18%) 玄関がバリアフリーでフラットになっているため、子どもが靴を脱ぐ場所が曖昧になっている。	玄関マットを引いたり、腰掛を置くなど、フラットになっている分、視覚的にわかりやすく工夫してまいります。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃や換気を適宜行い、清潔な空間の確保に努めています。	はい:16(94%) わからない:1(6%) 手洗い場が部屋の奥側にあるため、玄関近くにある方がより良いと思う。	現状では手洗い場の位置の変更は検討しておりませんが、今まで以上に職員からの促しなどを徹底してまいります。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	障害児通所施設支援システム「メイプル日誌Ⅲ」を導入し、業務改善、業務の効率化に努めています。		引き続き、業務の効率化に努めたいと思います。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価はまだ取り入れていません。		現時点では、第三者評価制度の活用は考えておりません。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月に1回法人が定めた事業所内研修を実施すると同時に、外部の学習会への参加やレポート発表を行っています。		引き続き、内部研修だけでなく、外部での研修やオンラインでの研修を活用できるように努めたいと考えています。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談時の保護者からの聞き取りや子どもの様子、相談員からの情報をもとに、子どもの発達を見極め、発達の道筋に即した計画を作成しています。		引き続き、丁寧なアセスメントを行い実態に合った支援計画を作成していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	保育所や幼稚園、家での様子などを保護者から聞き取り、子どもにとって居心地の良い集団を作るための計画を作成しています。	はい:17(100%) 子どもの発達に合わせた活動内容で、毎回子どもたちが飽きることなく、工夫してもらっているように感じる。 子どものことをよく理解してくださり、母親も気づくことのできなかった部分をたくさん教えてもらっている。	活動や時間ごとに子どもに合った集団の大きさは変わることを念頭に置き計画を作成していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子ども達の生活が豊かになるよう、子どもが今求めていることを具現化し、職員の関わり方についても日々のミーティングで確認しています。		職員だけでなく、保護者が理解しやすい文章を心掛け、事業所でどんなふうに子どもを見ているのか、子どもの良さが感じられるような支援計画を作成していきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書に定期的に目を通しています。特にグループのリーダーにあたる職員は支援計画を頭に入れたうえで、毎日の実践内容を考えています。	はい:17(100%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎週月曜日の午後に全体ミーティングの時間を設け、教材研究や新たな活動の提案の時間を作っています。	はい:15(88%) わからない:2(12%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	児童発達支援を中心に事業を展開しているため、平日休日に関わらず、日々の療育に安心して通う事を大切にしています。		事業所の成長とともに、ニーズも変わっていくことを念頭に置きながら、求められていることにその都度対応できるようにしていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの興味や関心の移り変わりや一人一人の特性に応じて活動を変化させていくことはもちろん、変化に不安の高い子どもに対しては、活動していく中で遊びを発展させ、その子に合わせて満足感を得やすいようにしています。		今後も子どもに合わせた遊びの発展のさせ方を大切にしています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	各グループのリーダーが前もって活動を決めておき、支援開始前のミーティングでは内容やねらいの共有、各職員がどういったポジションで動くのかなど細かく確認してから療育に入るようにしています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は30分ほど時間を取り、全職員で振り返りを行うようにしています。何をしていたかではなく、お子さまの変化に意味づけをすることを中心に行い、次の療育につながるようにしています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	振り返りの中で、リーダーがグループ全体と一人一人の記録を取り、個人の記録に残すようにしています。何をしたかだけでなく、PDCAサイクルになるような記載方法を意識しています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年を目安に、計画書の見直しを行っていますが、お子さまの状況の変化によっては半年を待たずに、その都度行っています。		現状を継続できるように努めたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	開催時間等、状況によっては児発管に加えて直接支援している職員も参加できるよう、調整しています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育所や幼稚園、小学校などと15ケースにおいて連携を行いました。また、状況に応じて電話で連絡を取り合うなど、並行通園先の園との連携を大切にしています。		引き続き、丁寧な連携を行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	小学低学年を対象としているため、該当するケースがありませんでした。		今後、該当者がいれば対応していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	全国障害者問題研究会に参加し、全国の専門家とつながり、研修会にも業務の一環として参加しています。		今後も積極的に学習会への参加を検討していきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では、事業所外での対外的な交流は行っていないですが、地域の公園で一般のお子さんも巻き込んで一緒ににおにごっこやかくれんぼをしていることもあります。	はい:12(70%) わからない:5(30%)	今後、子どもの姿や保護者の思いをお聞きしながら、必要に応じて検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	保護者や地域の方向けに開放した学習会を行っています。		今後も、定期的に地域に向けた発達の学習会を行います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容については見学時に、利用者負担等については契約時に具体的な計算例を用いて説明しています。	はい:17(100%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	実施しています。	はい:17(100%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	定期的に面談の機会を設け、子どもたちの発達についてお伝えしています。また、試験的に保護者グループを開催しており、今後は定期的な開催を予定しています。	はい:11(65%) どちらともいえない:2(12%) わからない:4(23%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回療育後に保護者に子どもたちの様子を写真付きでお伝えすることで、子どもたちの姿をどう捉えていくのかお話をしています。	はい:17(100%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	悩みを話しやすい関係性と環境を用意するようにし、悩みの表面だけでなく根幹にある保護者の願いに気が付けるような助言を心掛けています。	はい:16(94%) どちらともいえない:1(6%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	試験的に保護者グループを開催し、保護者通しの横のつながりを持てる機会を提供しています。	はい:8(47%) どちらともいえない:4(23%) いいえ:2(12%) わからない:3(18%)	保護者の意見を取り入れながら、定期開催に向けて進めていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付体制が整備されており、管理者がその窓口となっております。ご要望については、対応者からの伝達により、速やかに対応するように努めております。	はい:12(70%) わからない:5(30%) 兄弟児の入室を控えてほしい。 そのような状況になったことが無いのでわかりません。	送迎時の兄弟の見守りは保護者の方をお願いすると同時に、職員間でも兄弟のいるご家庭については配慮し、事故などが無いように努めていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	毎回の写真付きでの報告の時間とは別に、職員の方から個別にお声がけすることを大切にしています。また、保護者の生活スタイルに合わせて、メールや電話など使い分け、情報の伝達をこまめに行っています。	はい:16(94%) どちらともいえない:1(6%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現時点では、会報等の発行は行っておりませんが、Instagramで週1回程度の情報発信を実施しています。	はい:14(82%) わからない:3(18%)	Instagramを中心に、情報発信を継続できるようにしていきたいと思います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	施設や書庫の施錠は日々実施して取扱いに留意しています。	はい:13(76%) わからない:4(24%)	現状を継続できるように努めたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルは作成し、事務所内にて掲示しています。	はい:10(59%) わからない:5(35%) いいえ:1(6%)	現状を継続できるように努めたいと思います。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回以上実施できるよう、職員間で計画を立てて訓練を実施しています。	はい:9(53%) わからない:8(47%)	R5年度は5月に実施済みです。 次回は3月ごろに予定しています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人内で研修を行い、適切な対応を深めています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束が必要なケースが無いが、必要場合は職員間で検討後、保護者へ説明をし、個別支援計画に記載する手順は整えています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	見学時の相談受付時に、アレルギーに関する項目を記載してもらい、把握しています。当事業所が提供しているおやつに関しては、アレルギーの無いもので工夫しています。		現状を継続できるように努めたいと思います。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットが発生した場合は、その日のうちに作成し、今後の対策も含めて職員間で情報共有をしています。		現状を継続できるように努めたいと思います。